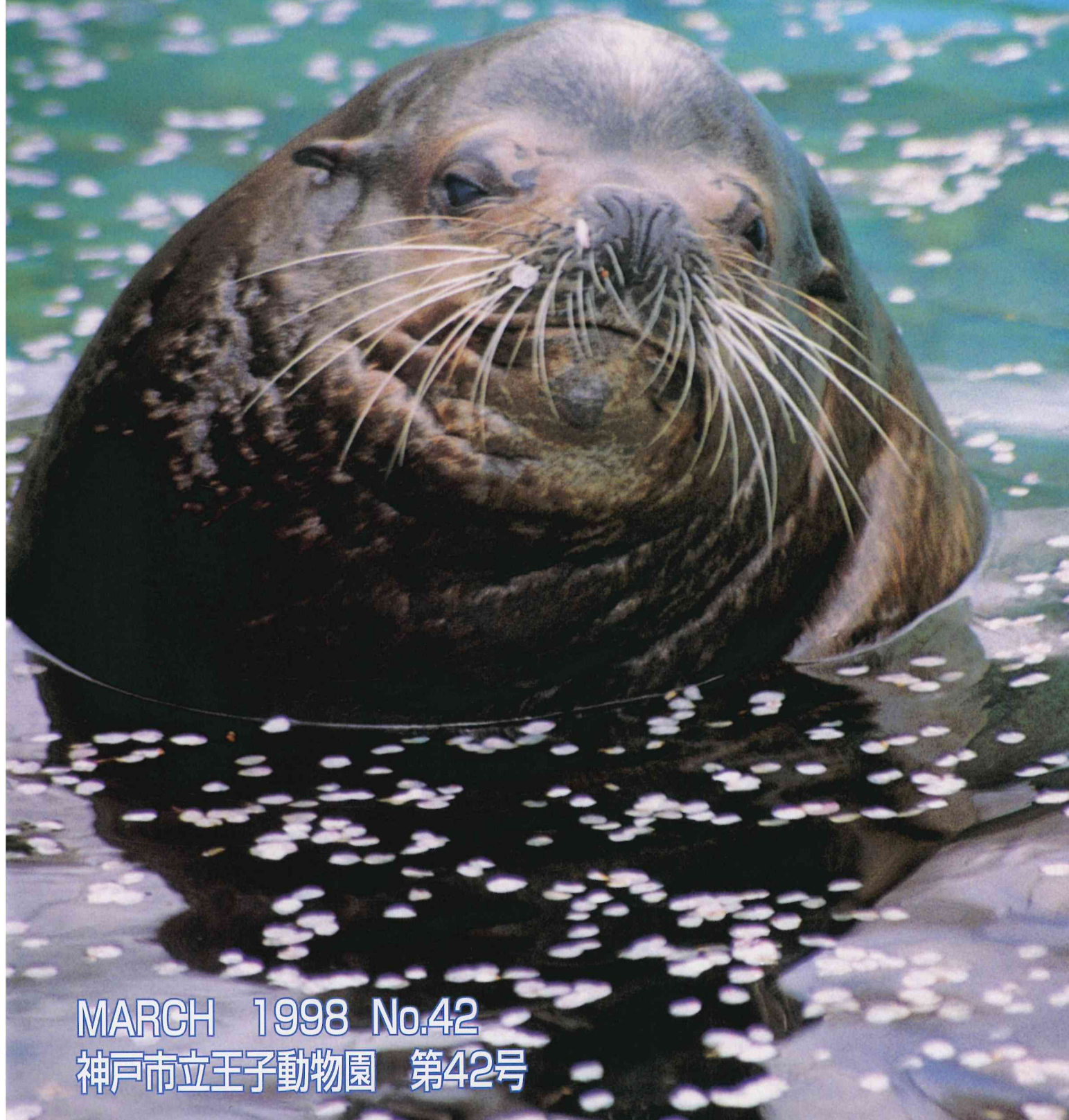


K O B E
OJI ZOO

はばたき

神戸の動植物園グラフ



MARCH 1998 No.42
神戸市立王子動物園 第42号

動物園の機関誌「はばたき」は今回で42号となります。私が「はばたき」に携わったのは1978年発行の8号からで、「動物もの知り手帳」～なんでも知っちゃおう～のコーナーを最初に手掛けました。この年には太陽の動物舎がオープンし、ワニを4種類展示していたので、ワニの亜種の見分け方を解説したものでした。それ以降、動物の記事を中心に毎号のように筆を走らせたが、中でも思い出深いことは、1981年に開催されたポートピア'81に中国の友好都市天津市の動物園からやって来たジャイアントパンダの飼育記事や1985年に神戸で開催されたユニバーシアードに併せて開かれた全国緑化博覧会の会場に天津動物園から借り受けた金絲猴の飼育記事などです。「はばたき」の編集には専任の職員がおらず、原稿作りから写真撮影まで全て飼育係が手作りでを行い、毎回締切りぎりぎりまで仕事の合間に悪戦苦闘を強いられました。

現在のA4版、オールカラーのスタイルになったのは1994年の35号からです。皆さんに楽しい動物園の情報を提供できるようになり、神戸市内の幼稚園、小学校、中学校などに送り、課外授業の資料として活用していただいたり、全国の動物園や水族館、外国の動物園にも送って情報の交換にも役立てています。

動物園の役割はレクリエーションの場であることは変わりませんが、博物館としての役割も重要な時代を迎えております。文部省は生涯学習の場として、そして、学校と社会教育施設としての動物園の利用を緊密にする学社融合の場として、積極的に押し進めております。これに応えるための施策を充実しなければなりません。また、国際的なワシントン条約、生物多様性条約、種の保存のための役割などは一地方の動物園だけでは不可能な時代となり、国際的な連携も欠かせません。

あの忌まわしい大震災の痛手乗り越えて市民の憩いの場を提供してきましたが、残念ながら入園者数は震災前の年の80%しか回復していません。私の動物園生活は20年となり、様々な出来事がたくさんありました。王子動物園はもうすぐ開園50周年を迎えますが、これからも皆さんに親しまれる、何度でも来たい動物園となるように心から願っております。

神戸市立王子動物園 園長 権 藤 眞 禎

表紙動物の説明



カリフォルニアアシカ Californian Sea Lion

北アメリカ西岸に生息し、魚、イカ、タコなどが主食。野生では1頭のオスが数十頭のメスを従えてハーレムをつくる。この写真は王子動物園のオス「チュータ」15歳、体重は500kgの巨体。2頭のメスとの間に毎年子どもをつくる。
撮影者 宝塚市 池田早美さん
(平成8年度 アマチュア動物写真コンクール 佳作「惜春」)

マサイキリン Masai Giraffe

アフリカのサハラ砂漠以南に分布。サバンナで群れをつくって生活し、主に昼行性である。主食は木の葉や小枝（アカシアなど）で、花や果実、草を食べることもある。繁殖期は特になく、妊娠期間は450日で1産1子である。

・撮影者
勝原 靖夫 さん
(神戸市兵庫区)
平成8年度
アマチュア動物写真コンクール
佳作「キリンは舌も長い」



目次 CONTENTS

表紙

カリフォルニアアシカ (写真：池田早美)

P1~2

巻頭言 (園長 権藤真禎)
マサイキリン (写真：勝原靖夫)

P3~4

特集Ⅰ トラ特集 (文：浜 夏樹)

P5~6

特集Ⅱ 長く親しまれてきた
動物たち (飼育係各担当)

P7~8

飼育レポート
マサイキリンの「キリコ」
(文と写真：兼光秀泰)

P9~10

アムールトラ (写真：岸田一也)

P11~12

動物の話題 ベビー誕生・新顔動物
(飼育係各担当)

P13~14

アマチュア動物写真コンクール及びトラ年賀状
版画コンクール特別賞作品

P15~16

神戸の公園情報
須磨離宮公園・森林植物園
布引ハーブ園
花と緑のまち推進センター

P17~18

トピックス 資料館特別展ほか
ZOOっとタイムズ NO.8 (まんが：川上博司)

裏表紙

アシカの尾
平成10年度王子動物園行事予定
編集後記 (副園長 大久保建雄)

特集Ⅰ ト ラ 特集

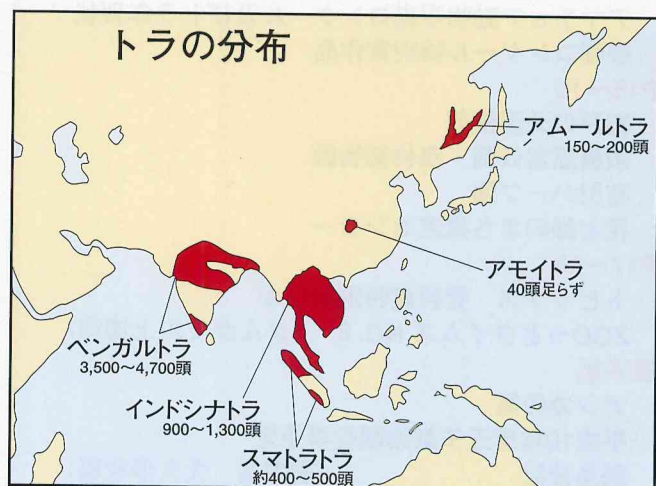
今年は寅年です。各地の動物園では寅年にあわせてトラにちなんだ企画が目白押しです。王子動物園でも動物科学資料館で特別展「トラ・とら・虎」を3月10日まで開催しています。そこで今回はこのトラの特集を組むことになりました。



アムールトラ「レンレン」(王子動物園)

●トラの分類と生息地

トラ (*Panthera tigris*) は食肉目 (Carnivora) ネコ科 (Felidae) ヒョウ属 (*Panthera*) に属し、8亜種が確認されています。しかしその内の3亜種(バリトラ: *Panthera tigris balica*、ジャワトラ: *P.t.sondaica*、カスピトラ: *P.t.virgata*) は絶滅したといわれています。現存する5亜種にはアムールトラ (*P.t.altaica*)、ベンガルトラ (*P.t.tigris*)、インドシナトラあるいはマレートラ (*P.t.corbetti*)、スマトラトラ (*P.t.sumatrae*)、アモイトラ (*P.t.amoyensis*) がいますが、どの種も絶滅の危機に瀕しています。図に現存の各亜種について生息地と推定の生息数を示しました。トラはこれらの地域の森林で単独生活をしています。



●トラの一生

トラの平均的な妊娠期間は103日で、1回に1~6頭(平均2~3頭)の子どもを出産します。子トラは6~8週間で離乳しますが、1歳半ぐらいまでは母親が狩りをした獲物をもらって生活します。そしてこのころまでに狩りの仕方を学びます。この間、母親だけがずっと子トラの世話をします。父親が子育てに参加することはありません。たくさんの子どもの生まれても自立できるまで生育するのは1頭か2頭です。自立して母親のなわばりを出た子トラは、メスの場合は母親のなわばりの近くに自分のなわばりを作るか、時には母親のなわばりを乗っ取ります。オスの場合は母親から遠く離れた場所になわばりを持ちます。3歳で性成熟に達し、繁殖は熱帯に生息する亜種では1年中認められますが、寒い北方系の亜種では冬の間に限られます。野生では2~3年間隔で繁殖し、1頭のメスが一生に残す子どもの数は約10頭前後だといわれています。トラの平均的な寿命は15年ですが、飼育下では20年ぐらい生きているものもいます。

●動物園のシンボル

トラが属する食肉目の動物はその言葉どおり他の動物の肉を主食としています。食うか食われるかの関係においては食う側に回っている動物で、強い動物であるという印象を受けます。トラはその強い食肉目の動物の中でも最大の種です。また、動物園では百獣の王ライオンと並んで人気の高い動物の一つで、動物園のシンボリックな存在です。

そこで、ライオンとトラはどちらの方が強いのか?とよく質問されます。この質問は非常に興味深い問題ですが、



アムールトラ(王子動物園)

しかしそれは比べようがない問題でもあります。現在、ライオンはアフリカ大陸のみに生息しています。（絶滅種にはアジア地方に生息していた種もありますが）それに対して、トラはアジア地域のみ生息しています。トラが十二支の一つとして取り上げられているのも、アジアに生息し、アジア文化に深い関わりがあるからです。また、生息環境も両種で異なり、ライオンは草原で群れをなす動物であるのに対して、トラは前に述べたように森林地帯で単独生活をする動物です。このような違いからライオンとトラではどちらが強いのか、という問題は永遠の難題といえるのではないのでしょうか。

●トラの種の保存

現在、トラはその生息地における環境破壊や密猟などにより頭数が激減し、各亜種の最大値を合せても7,000頭にも満たないと推測されています。絶滅の危機がせまっている野生動物の種の保存のため、いま、全世界の動物園が飼育している希少動物の血統管理を行い、適正な繁殖を実施して永遠に種を残す事業を行っており、トラもそのうちの一つに挙げられています。日本の動物園にはアムールトラ50頭、スマトラトラ7頭およびベンガル系のトラ127頭、合計184頭のトラが飼育されています。そしてこれらのトラの血統管理や登録の総括は王子動物園に任されています。今後もトラの種の保存に力を注ぎ、トラがこの地球上から姿を消すことのないように努めたいと思っています。



ホワイトタイガー（宝塚ファミリーランド提供）



スマトラトラ（(財)東京動物園協会提供）



ベンガルトラ（大阪市天王寺動物園提供）

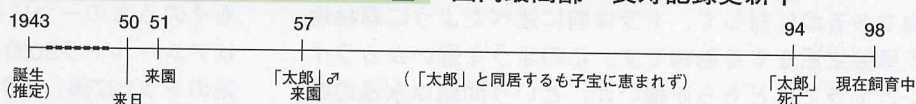
特集Ⅱ 長く親しまれてき

王子動物園には、長年にわたり、入園者に親しまれてきた動物がたくさんいます。昨年（1997年）9月13日、敬老の日を前に、特に長生きの動物を選び、動物園の職員全員で飾り付けや好物の食事を用意し、入園者の皆さんと共に祝いました。長い間飼育してきた動物のベスト10は別表のとおりで、長寿記録を持つ動物など主な顔ぶれを紹介します。



インドゾウ「諏訪子」

メス 推定55歳
国内最高齢 長寿記録更新中



ドロ浴びが大好きで、ハトが大嫌いです。リンゴやバナナが好物で、長寿祝いの時はそれぞれ歳の数だけペロリと平らげました。最近、歳のせいか寝るのが早く、午後5時過ぎには横になっている時があります。

- ・妊娠期間 590～650日
- ・国外の長寿記録 69～77歳（推定）

チンパンジー「ジョニー」

オス 推定48歳
国内のオスの最高齢



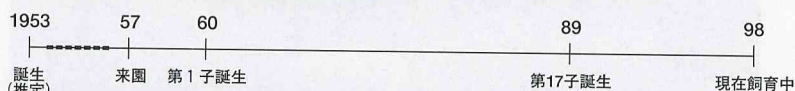
長女チェリーの母親「摩甲」を始め、現在同居中の「ユキ」「リノ」など5頭の妻との間に16頭の子をもうけました。最近は寄る年波のせいか、歯が悪く精悍さも衰えがちです。でも、長寿祝いの時は草文字などに喜んだのか、果物のオードブルを一瞬のうちに壊す元気をみせました。

- ・妊娠期間 227日
- ・国内では1歳年上のメスが記録更新中



カバ「茶目子」

メス 推定45歳
国内では2番目の高齢



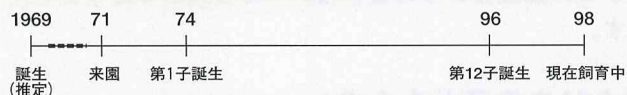
初代「出目男」との間に5頭、2代目「出目男」との間に10頭、3代目「出目男」との間に2頭合計17頭の子宝に恵まれたお母さんです。長寿祝いではおからの台にトマトを飾り、アスパラガスや人参のろうそくを立てたデコレーションケーキをプレゼントしてもらいました。あまりの見事さに最初は口を付けませんでしたが、そのうちパクパクと食べてしまいました。

- ・妊娠期間 190～240日
- ・国外の長寿記録 49歳6ヵ月

た動物たち

マサイキリン「キリコ」

メス 推定29歳
国内外問わず最高齢



3頭のオスとの間に12頭の子を出産しました。現在は子の「ナツコ」や孫の「マサ」と三世代の家族で暮らしています。長寿祝いでは「祝日本一」と書かれた看板の上に好物の桜の枝葉を置いたところ、用心深く警戒し、近

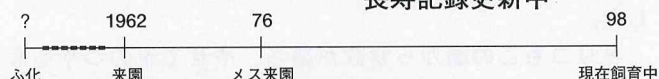
寄るのに時間がかかりました。でも、お祝いにかけつけた入園者の前で、おいしそうにゆっくりと食べました。

- ・妊娠期間 420～460日
- ・過去の記録では29年が最長飼育期間



スマレコンゴウインコ

オス 36歳以上
国内最高齢
長寿記録更新中

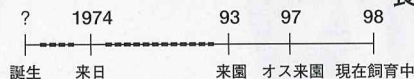


1976年にメスが来園しました。国内の動物園では12羽しか飼育されていないので、早くひなの誕生を期待していますが、まだ子宝には恵まれていません。夫婦仲はたいへんよく、早朝からギャーギャーとにぎやかに鳴きあっています。

- ・抱卵日数 約4週間

オオアリクイ「マツ」

メス 23歳以上
国内最高齢
長寿記録更新中



昼寝の時間が長かったものの、1997年6月にオスの「グアポ」(1歳)が同居し始めてからは元気に動き回るようになりました。

- ・妊娠期間 約190日



王子動物園の長期間飼育ベスト10

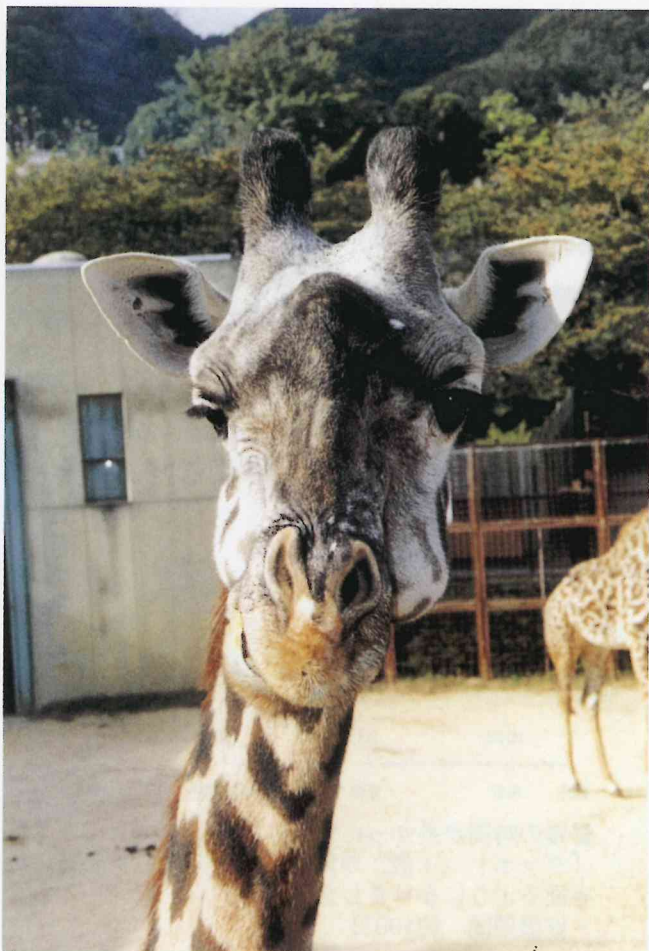
(1998年1月1日現在)

番号	動物名・愛称・性別	飼育期間(年齢)	番号	動物名・愛称・性別	飼育期間(年齢)
1	インドゾウ「諏訪子」メス	46年8カ月(推定55歳)	6	ヒワコンゴウインコ オス	31年7カ月(32歳以上)
2	チンパンジー「ジョニー」オス	42年1カ月(推定48歳)	7	フンボルトペンギン「SH-09」メス	27年5カ月(27歳5月)
3	カバ「茶目子」メス	40年7カ月(推定45歳)	8	マサイキリン「キリコ」メス	26年1カ月(推定29歳)
4	スマレコンゴウインコ オス	35年8カ月(36歳以上)	9	フンボルトペンギン「SH-01」オス	25年6カ月(25歳6月)
5	チンパンジー「チェリー」メス	34年6カ月(34歳6月)	10	ニホンコウノトリ「コーチャン」オス	25年1カ月(26歳以上)

長寿の注目動物

オオアリクイ「マツ」	メス	4年1カ月(23歳以上)
------------	----	--------------

飼育レポート マサイキリン



キリコの顔

●キリコと仲間たち

キリコ（♀）は1971年11月8日にコズエ（♀）やミネコ（♀）とともに王子動物園にやってきました。来園時の年齢は3頭とも推定2歳でした。

この当時の飼育日誌を見ると、長旅の疲れや環境の変化のためか、5日間ほどはほとんどえさを食べず、飼育に苦勞されたようです。えさを食べ始めてからは順調に生育し、来園してから3年目にはキリコとミネコに、4年目にはコズエに待望の赤ちゃんが誕生しました。

それ以降も順調に繁殖していましたが、残念なことに阪神・淡路大震災直後の1995年1月21日にミネコが26歳で、同年7月19日にはコズエも26歳で共に老衰でこの世を去り、同時期に来園した3頭のうち、生き残ったのはキリコだけになりました。

●長寿記録

キリコは今年で29歳になります。国内で飼育されているマサイキリンの中では最高齢です。アミメキリンでは多摩動物公園で飼育されていた29歳の個体が最高齢でしたが残念なことに一昨年死亡しましたので、現在国内で生存しているキリンの最高齢はキリコとなりました。海外での長寿記録はINTERNATIONAL ZOO YEAR BOOK（国際動物園年鑑）によると、マサイキリンでは24歳、アミ

メキリンでは32歳という報告があります。それを見てもキリコの29歳というのは、たいへんな高齢であるといえます。

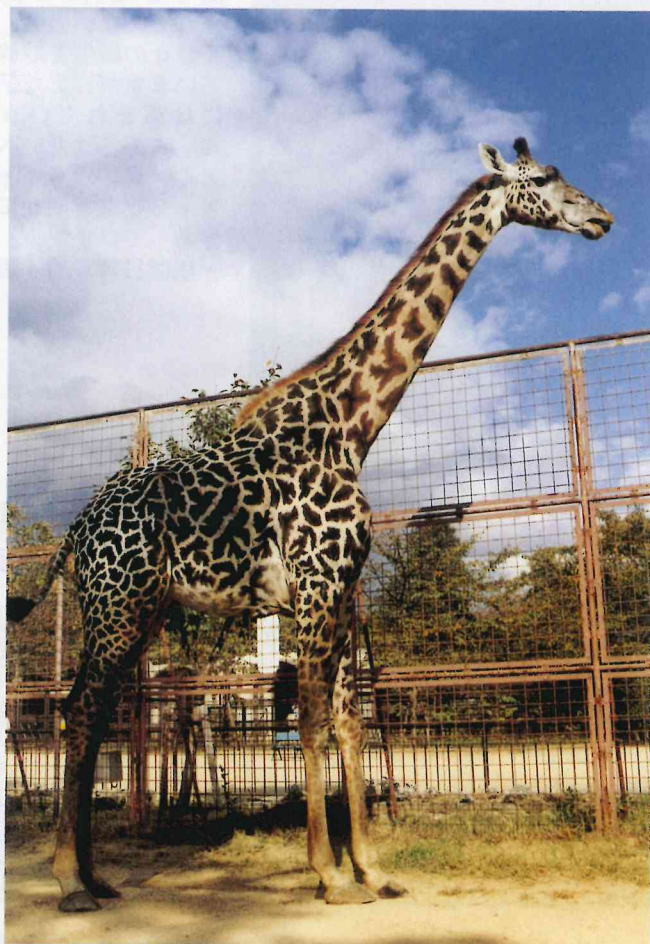
●キリコの子どもたち

キリコが初めて出産したのは1974年6月22日です。オスのナガオとの間に生まれた子どもで、性別はオスでした。それからは順調に出産し続け、ナガオとの間に6回、ケン（♂）との間に3回、ミミオ（♂）との間に3回、合計12回も出産しています。この内6頭の子どものうち、国内はもとより、韓国の龍仁自然農園や中国の天津動物園にも友好動物として贈られています。

●現在の状態と管理

キリコの最後の出産は1996年8月21日でした。高齢であることから出産に耐えられるか、と心配していましたが、無事出産し、産後の経過も順調で安心しました。しかし、高齢出産のためか、子どもに元気がなく、生まれて90日目に立ち上がることができなくなり、93日目に死亡しました。

キリコもこの頃から食欲が落ち、やせて毛のつやもなくなってきました。今後は出産させると子どもはもとより、母体も危険なので、妊娠しないようにオスと分離して飼



キリコの容姿

の「キリコ」

育することにしました。また、食欲増進の意味で大好物のニセアカシアやサクラなどの木の葉を毎日園内で採取して与えています。最近では食欲も旺盛になり、少し太ってきたように思えます。新たに心配事は足が少し弱ってきて運動量が減り、そのため蹄が異常に伸びてきていることです。これを放置しておくとも最終的には歩けなくなるので、歩行に支障をきたすようであればその都度ノコギリで蹄を切り揃えています。

キリコは性格がおとなしく、飼育係にもよく馴れていますので大へん可愛がられています。足が少し弱ってきているものの、食欲もあり、元気なので、まだまだ長生きしてくれることと思います。どうか、皆さんもキリコを応援してあげてください。



空に向かって

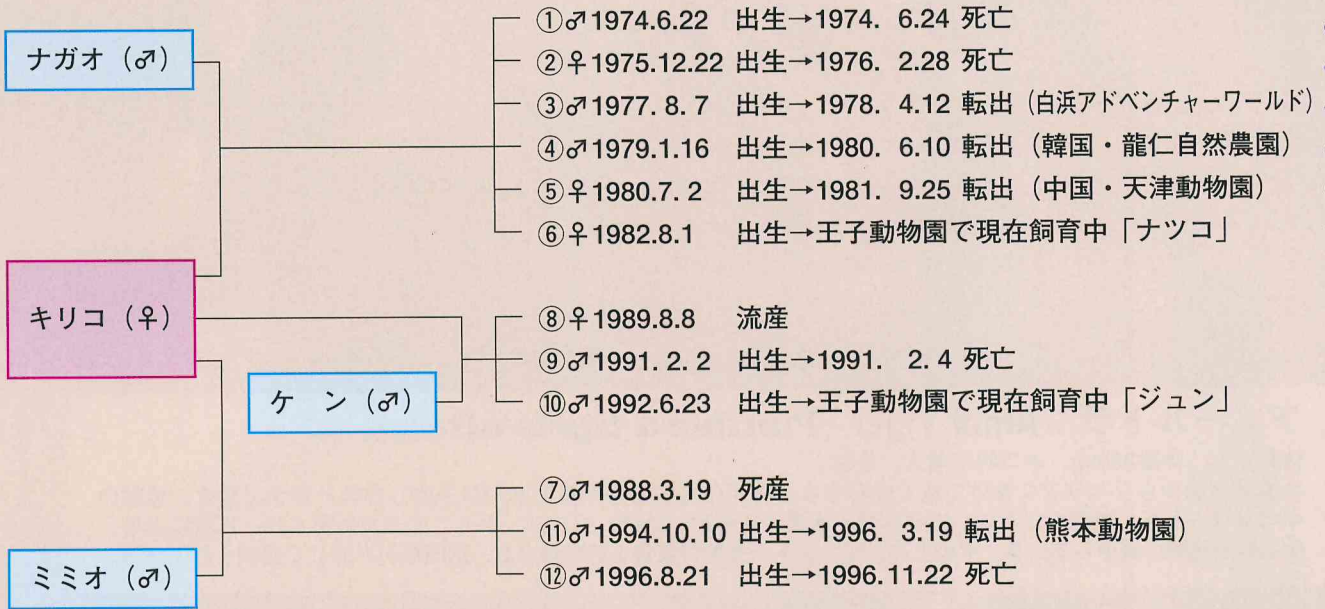


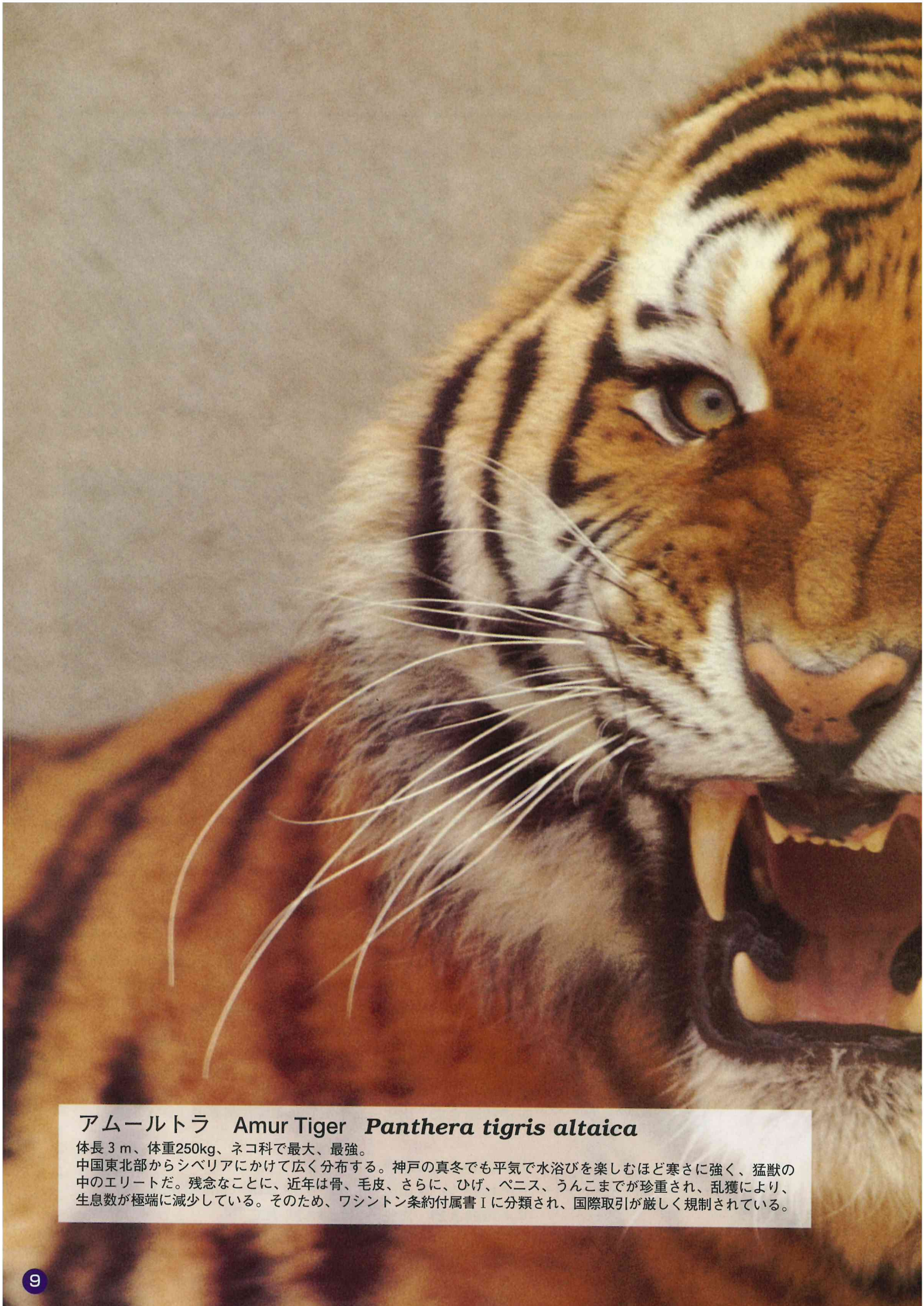
蹄を切る



好物の木の葉を食べる

キリコの繁殖歴

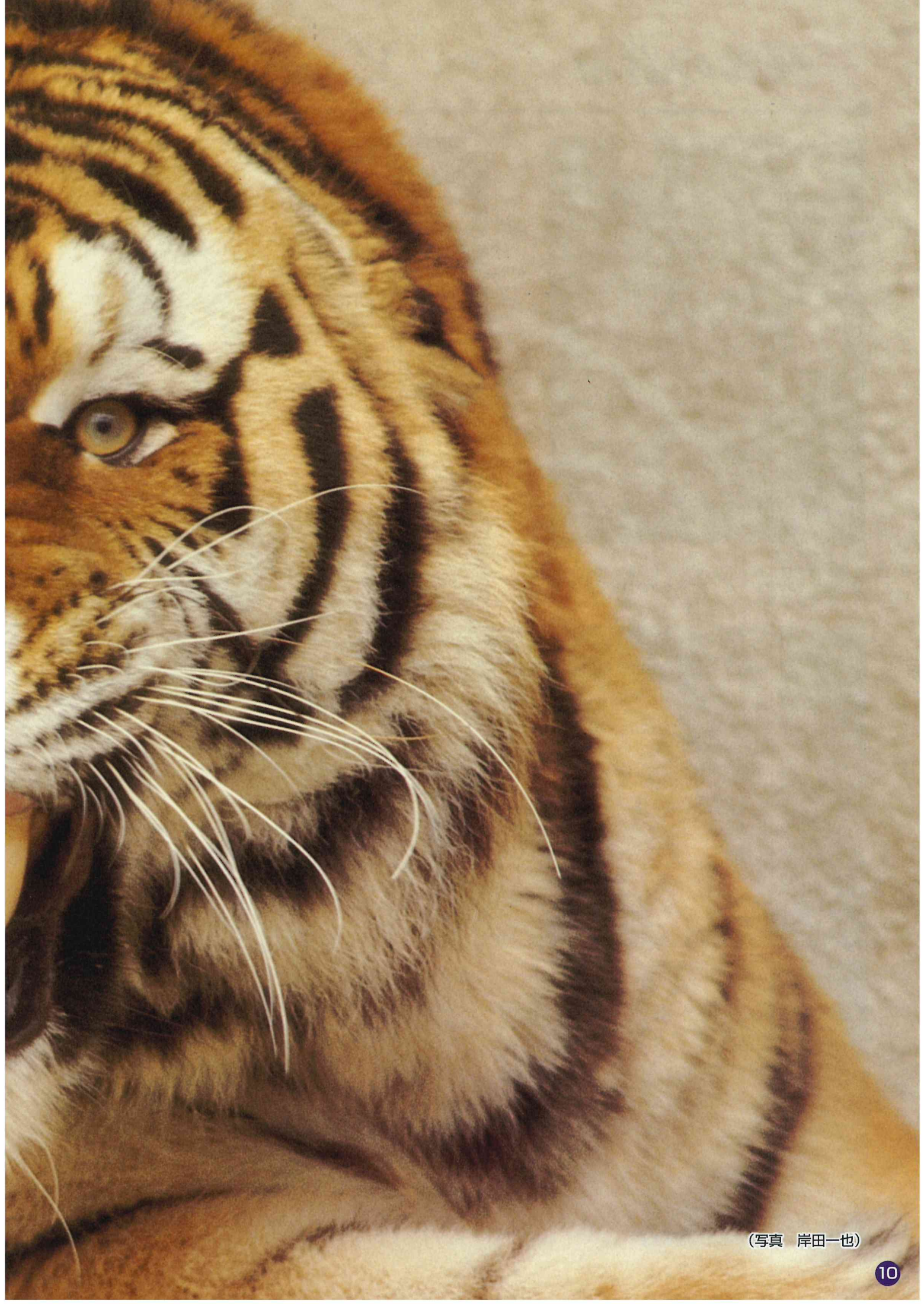




アムールトラ Amur Tiger *Panthera tigris altaica*

体長 3 m、体重250kg、ネコ科で最大、最強。

中国東北部からシベリアにかけて広く分布する。神戸の真冬でも平気で水浴びを楽しむほど寒さに強く、猛獣の中のエリートだ。残念なことに、近年は骨、毛皮、さらに、ひげ、ペニス、うんこまでが珍重され、乱獲により、生息数が極端に減少している。そのため、ワシントン条約付属書 I に分類され、国際取引が厳しく規制されている。



(写真 岸田一也)



▲マサイキリン

昨年6月7日に生まれたオスです。父も母も王子動物園生まれですから、生粋の“神戸っ子”ですね。名前は「マサ」といいます。



▲ミニナガヤギ

誕生日は昨年10月24日です。生まれた時からその名のとおりに耳が長く、歩くとそれがゆらゆらと揺れるので、とてもかわいいです。



▲フタユビマナケモノ

昨年9月27日に誕生。初めは母親のお腹の上にしっかりとしがみついていたが、時には父親のお腹に移ることもありました。今ではひとりで動き回っています。



◀シロフクロウ

昨年7月10日に3羽の雛がふ化しました。初めは灰色でしたが、今では綿羽も親と同じ白地に黒の斑をもっています。

▶ワオキツネザル

昨年11月10日に生まれました。親をそのまま小さくしたぬいぐるみのようです。目はまん丸でぎょっとした表情が大に可愛いです。



▲ラマ

昨年7月から9月にかけて相次いで4頭の赤ちゃんが誕生。そのうちの1頭「ニニーちゃん」は“ふれあい広場”で間近に見られます。



新顔動物

インドホシガメ (*Geochelone elegans*)

1994(平成6)年1月からインドホシガメの幼個体の飼育を始めました。飼育は難しく苦勞しましたが、そのかいがあって翌年には卵を産みました。人工ふ化を何度も試みましたが、ふ化には至りませんでした。しかし、昨年ふ化器の改良により待望の赤ちゃんが誕生しました。これは日本の動物園や水族館での飼育下で初めての繁殖です。貴重な赤ちゃんですので大切に育てたいと思っています。



ふ化の瞬間



ふ化当日

これ以外にエジプトルーセットオオコウモリ、パルマワラビー、アカカンガルー、ニホンジカ、カピバラ、クィーンズランドコアラ、シタツंगा、トウブハイイロリス、フラミンゴ、フンボルトペンギン、ニジキジ、オシドリなどが誕生し、王子ファミリーに仲間入りしました。

新顔動物



オス「ハカセ」



メス「ラム」

クィーンズランドコアラ

鹿児島市平川動物公園より2頭のコアラが昨年10月27日に来園しました。これは王子動物園生まれのオスのコアラ「ジェックス」が平川動物公園にブリーディングローン(繁殖のための貸し借り)で貸し出しされ、4頭の子どもの父親になったことによるものです。通常はその第1子と第3子が王子動物園に返されることになっているのですが、遺伝的な管理を考慮して、「ジェックス」とは血縁関係のない個体が選ばれました。今回仲間入したコアラは「ハカセ」(オス・1歳10ヵ月)と「ラム」(メス・1歳7ヵ月)の若い2頭です。

オオアリクイ

1 昨年3月にオスが死亡したため、メス1頭だけで飼育展示していましたが、昨年6月30日に静岡市立日本平動物園からオスが仲間入りしました。仲の良いペアです。ぜひ、ご覧ください。



第 9 回 アマチュア動物
写真コンクール

応募点数 436点
審査員 動物写真家
田中 光常 先生

特別賞作品 (敬称略)



▲ 神戸市長賞「舞 ひ」
山本 彰二
(大阪市生野区)

王子動物園長賞
「ほえる」
赤井 昇
(神戸市北区)



◀ 神戸新聞社賞
「春のたわむれ」
福井 清
(京都府八幡市)



▲ サンテレビジョン賞「ガバァ〜!」
吉田 心
(神戸市中央区)

▶ 神戸市公園緑化協会賞
「リスのポーズ」
串田 宏好
(神戸市長田区)



◀ 神戸市動物愛護協会会長賞
「ママはやく撮って」
桑名 摩千子
(神戸市中央区)

▶ フジフィルム賞
「初めてのお食事」
太田垣 徹
(兵庫県西宮市)



第30回 賀状版画コンクール

応募点数 1111点
審査員 版画家 川西 祐三郎 先生

特別賞作品 (敬称略)



▲ 神戸市長賞
奥田 真弓
(花園大学4回生)

▶ 王子動物園長賞
小橋 啓美
(龍野市立
龍野西中学校1年)



▶ 神戸新聞社賞
喜始 照宣
(姫路市立
網干小学校5年)



▲ 神戸市教育委員会賞
前田 航
(神戸市立白川小学校1年)

▶ サンテレビジョン賞
惟康 佑貴
(姫路市立
英賀保小学校3年)



▲ 神戸市動物愛護協会賞
儀間 文音 (幼児)

▶ 神戸市公園緑化協会賞
高橋 直子
(兵庫県神崎郡上小田小学校2年)



神戸市立 須磨離宮公園

須磨離宮で春を満喫



洋ラン展



花しょうぶ園

ベルサイユ宮殿を思わすフランス式庭園と噴水ごしに見る瀬戸内の海は最高のロケーション、さらに新緑、ツツジ、バラの花と共に花壇の草花も一せいに咲き、春を満喫していただけます。

当園は武庫離宮の面影を残す和風の伝統美と現代的な欧風庭園とがマッチし、欧風の噴水広場、落ち着いたある庭園や植物園では季節の花とともに、明るい躍動感や素晴らしい眺望が楽しめる魅力ある公園で、身も心もリフレッシュしてください。

早春からの主なイベントのご案内

- 梅見会 2月20日～3月4日（木曜日休園）植物園の梅園
梅の花の香りで春の訪れをお楽しみください。
甘酒のサービス、土・日曜日には茶席（有料）があります。
 - 春の洋ラン展 4月上旬 観賞温室
カトレアやコチョウランなどの華麗な花をお楽しみください。
苗の即売や相談コーナーもあります。
 - スプリングフェア 4月中旬～5月上旬 園内各所
春真っ盛りの離宮公園を種々なイベントでお楽しみください。
土・日曜日には種々な楽しいイベントがあります。
 - さつき展 5月下旬～6月上旬 植物園内花の広場
離宮公園が栽培する“さつき盆栽”の展示を行います。
 - 花しょうぶまつり 6月中旬 しょうぶ池周辺
色とりどりのしっとりとした花しょうぶをお楽しみください。
グリーンティーのサービスや土・日曜日には花の写真教室開催。
- ☆休園日 毎週「木曜日」（ただし祝祭日の場合はその翌日）
お問い合わせ ☎654-0018 神戸市須磨区東須磨1-1
☎078-732-6688

神戸市立 森林植物園

花々に彩られる森林植物園で “自然と友だちになろう”



シャクナゲ(5月初旬)



ナツツバキ(6月下旬～7月)

みどりの日を迎える頃にはツツジ、シャクナゲ、オオヤマレンゲなどまさに百花繚乱。みどりの週間からゴールデンウィークにかけて開催するイベント『風かおる新緑散策』の多彩な催しと共に森林浴や森に咲く花々を楽しんでいただけます。そして春から初夏にかけての園内では多くの野鳥が恋の季節を迎えます。

梅雨が近づき木々の緑が次第に深く、落ち着いた見せ始めると植物園はアジサイの季節を迎えます。ヤマアジサイの仲間が緑陰に咲く風情は格別、『アジサイ散策』の期間中の休日には世界一のコレクションといわれる“アジサイ保存園”も公開しています。

☆休園日 毎週「水曜日」休園（ただしイベント期間中は休園しません。）

4月からは神戸電鉄北鈴蘭台駅から来園者送迎バスを運行の予定。

お問い合わせ ☎651-1102 神戸市北区山田町上谷上字長尾1-2 ☎078-591-0253

早春、マンサク（まず咲く／豊年満作）の花が森林植物園に春の訪れを告げます。春休みが近づく頃には、園内のあちこちで春の気配が感じられます。4月の第1日曜日には待望の市バスの運行がはじまります。この日、植物園では春一番のイベント『春の森に遊ぼう』を開催して“草もち”などで皆さんをお迎えします。森林展示館の2階では小学生の理科作品の力作を展示して、子どもたちの眼で見た自然を紹介しています。

季節のうつろいとともに園内は次々と咲く花々に彩られます。街で花見ができなかった方もここでは10日遅れの花見が楽しめます。



くさもちつき(4月第1日曜日)

アウトドアしませんか

神戸市立 布引ハーブ園



魅力いっぱいのハーブ園で 春のひとときを

春は布引ハーブ園の一番美しい季節です。4月半ばを過ぎると、春の訪れを待ちかねたようにローズマリー、カモミール、ウォード、マスタード、タイム、セイジその他たくさんのハーブたちがかわいいた花を次々に咲かせ、園全体がハーブの花と香りに包まれます。ロスマリヌス（海の露）の語源どおりのローズマリーの青い花、カモミールの可憐な白い花、かわいいピンク色のタイムの花などハーブの花には日頃、花壇で見かける草花とはまた違った清楚な美しさがあります。

ハーブが香る心地よい風に吹かれ、春の陽気のもとでゆっくりと園内を散策したあと、海を眺めながら風の丘の芝生広場でお弁当にしているのが良いでしょう。また、3月20日からは土・日祝の夜間開園が始まり、美しい神戸の夜景も楽しめます。

ラベンダーは6月中旬から7月中旬にかけて咲き、それに合わせて、ラベンダー“花まつり”が開催されます。期間中は各種の講座やコンサート、展示会など盛りだくさんの内容です。この時期のラベンダー園は紫色のじゅうたんのようにラベンダーが一斉に咲き誇り、上品な香りが漂ってきます。

布引ハーブ園では、自然からの授かりもののハーブが、いつもあなたをお迎えしています。葉や枝を採らずに、やさしくそっと触れてみてください。ハーブは気高く香ることでしょう。魅力いっぱいのハーブ園で春のひとときを、皆さんも体験してみませんか。

☆休園日 第2、第4「月曜日」（ただし祝祭日の場合はその翌日）

お問い合わせ 〒651-0058 神戸市中央区葺合町字山郡

☎078-271-1131



ラベンダー園とガラスハウス



ワイルドフラワー園



神戸市立

花と緑のまち推進センター

【花のフェスタこうべ'98の開催案内】

「花のフェスタこうべ」は、花があふれる緑豊かな街づくりを進める「花のまち神戸」運動のメイン行事として、神戸総合運動公園を会場として開催してきましたが、平成10年の『花のフェスタこうべ』は明石海峡大橋開通記念事業として《アーバンリゾートシティブリッジフェア神戸'98》行事の一環として架橋開通を祝うとともにアジュール舞子のオープンを記念してゴールデンウィーク期間中に開催します。

【開催概要】

アジュール舞子では、橋や砂浜を背景とした景観を楽しみながら、浜辺を利用したイベントやその他スポーツイベント等をメインとする『橋と浜辺と花のフェスタこうべ'98』を開催し、花と緑のコンクールとして『フラワーデザインコンクール』や『インドアデザインコンクール』を相楽園で開催します。

■橋と浜辺と花のフェスタこうべ'98

5月2日（土）、3日（日祝）

10：00～16：00

アジュール舞子

■花と緑のコンクール

・フラワーデザインコンテスト

・インドアグリーンコンテスト

5月4日（休）、5日（祝）

9：00～16：30

相楽園

お問い合わせ

〒650-0006

神戸市中央区諏訪山町2-8（諏訪山公園内）

☎078-351-6756

園芸相談専用

☎078-341-8705

一暮らしに花と緑を

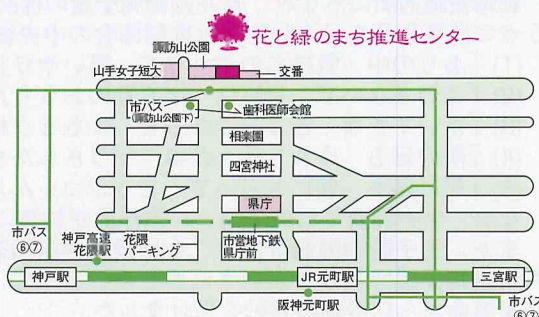


花のオークション会場風景

四季折々の花の情報や施設紹介は

ホームページアドレス <http://www.kobe-park.or.jp/>

花のテレフォンサービス 078-371-8711



TOPICS トピックス

サマースクール開催 1997.7.24~29

「動物の飼育にチャレンジしよう」をテーマに小学生約200人が参加、今回で27回目。参加した子どもたちはコアラ班など5班に分かれて獣舎の清掃や動物たちへのえさやりに挑戦。日頃入れない場所での動物たちとのふれあいや飼育職員の仕事の苦労話に新しい発見をしました。また、8月4、5日には動物絵画教室が開かれ、動物の観察をしながら楽しく絵を描きました。



ホッキョクグマに氷のプレゼント 1997.7.18

夏の風物詩として、ホッキョクグマに氷をプレゼント。2頭はなめたり、抱えてプールに飛び込んだり、一時の涼を楽しみました。また、チンパンジーの6頭にもおすそ分けしました。

ペンギンの引っ越し 1997.10.16

夏の間冷房室で飼育されていた暑さに弱いキングペンギン6羽が子どもたちの声援に見送られて、観覧通路をヨチヨチ歩きながら屋外のプールに引っ越ししました。



動物園夜間探検隊開催 1997.11.2&9

第5回動物園夜間探検隊が2日にわたり開催され、60組約120人の親子が参加。参加者は2班にわかれ、ヘッドライトの明かりを頼りに飼育職員の説明を聞きながら夜の動物の様子や生態を観察し、新しい発見に感動しました。



飼育係新体制でスタート

園内の動物飼育業務は従来から2班制で行われていましたが、昨年6月から5班制に組み替えられ、さらに平成10年1月から総括班長制度が実施されました。これにより各班内の意思の疎通が図られ、きめ細かな飼育展示業務が展開されるようになりました。今後は間もなく迎える「21世紀」と「王子動物園開園50周年」に向けた新たなステップとして、飼育業務と観客サービスの強化に結びつく運営を目指します。

動物愛護の標語募集と功労団体受賞

動物愛護週間にちなみ、第28回動物愛護の標語の募集を行った結果、王子動物園には75点の作品が寄せられ、その内、5点の優秀作品を日本動物園水族館協会の中央審査応募作品として提出しました。

- | | | |
|---------------------------|---------|------------------|
| (1)「おりの中 気持ちのやわらぐ 思いやり」 | 中村 博宣さん | (無職 70歳) |
| (2)「こわさないで 自然は ぼくらのおうちだよ」 | 堂本 研さん | (神戸市立多聞東中学校 1年) |
| (3)「だいすきな どうぶつたちを まもろうね」 | 清水 健太さん | (神戸市立筑紫が丘小学校 1年) |
| (4)「雨の日も うれしそうだね ゾウさんたち」 | 平井 真央さん | (神戸市立平野小学校 2年) |
| (5)「子に夢を 親におもいで どうぶつえん」 | 村岡 孝司さん | (会社員 54歳) |

なお、中央審査で村岡孝司さんの作品が銀賞に選ばれました。

また、王子動物園飼育係は「金絲猴の中国国外での世界初の繁殖及び里帰り」に対し、動物愛護功労団体として、神戸市動物愛護協会から表彰されました。さらに、「王子動物園におけるフラミンゴの飼育と繁殖」に対し、兵庫県動物愛護協会から功労動物表彰を受けました。

「ズゼ」を計る会 1997.11.2



計量記念日にちなみ、インドゾウの「ズゼ」を計る催しがゾウ舎運動場で開かれました。今回の計量のために特注の巨大な体重計が準備され、練習を重ねた「ズゼ」が乗りました。2,574kgが示された時には観客からわーと歓声が起こりました。

干支の引継式 1997.12.14

恒例の干支の引継式が園内の猛獣舎前広場で行われました。間もなく役目を終える生後4か月のホルスタイン（メス）の子牛から動物園で飼育中のアムールトラのピンチヒッター・阪神タイガースのマスコット「トラッキー」と「ラッキー」に引継書が手渡されました。大勢の観客が見守る中で厳粛？に引継式は終わりました。



金絲猴「点点」死亡 1997.12.18

キンシコウのメス「点点」が急死。死因は流産による衰弱。「点点」は1990年北京で生まれ、1994年3月に来園、オス「壮壮」との間に昨年北京に里帰りした「勇勇」を出産、金絲猴ファミリーの一員として親しまれていました。



動物科学資料館の特別展

「動物とさかなの生きざま」1997.9.11～12.7

須磨海浜水族園との共同特別展として、同じテーマで同時開催。色鮮やかな魚の水槽やはく製、実物標本などで動物や魚の共通した身の守り方や武器、子どもの育て方などを解説。



「トラ・とら・虎」1997.12.18～1998.3.10

今年の干支「寅」にちなみ、トラの生息状況、暮らしや体の仕組み、トラの保護や種の保存などをはく製や標本などで展示。さらにトラが描かれた絵画やコレクションなどを紹介。



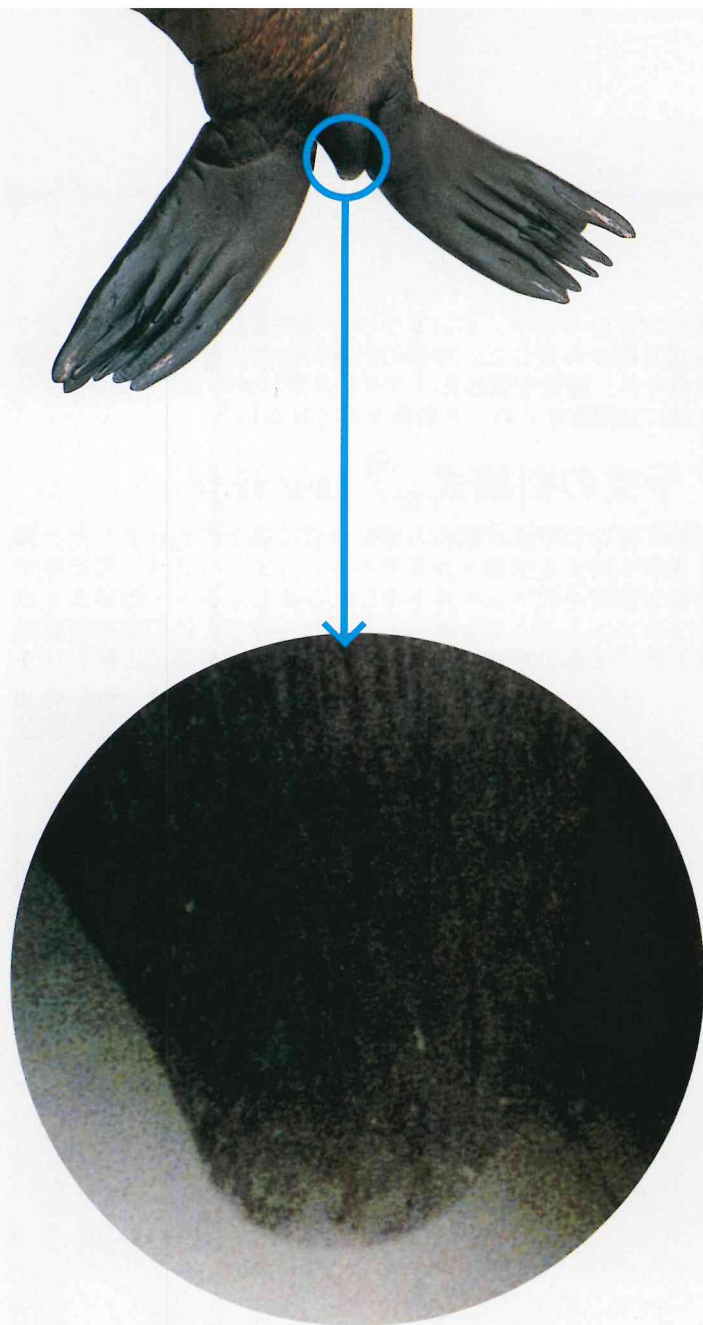
次回特別展 諏訪子が語る「王子動物園の歩み」1998.3.21～6.30

王子動物園開園以来生き続けているインドゾウ「諏訪子」の回想録として、神戸の動物園の歴史を探る。

ZOOっとタイムズ No.8

まんが:かわかみひろし





カリフォルニアアシカの尾（実物大）

編集後記

毎回の編集会議で議論多く悩むものの一つが、表紙の写真です。今回は当園の平成8年度「アマチュア動物写真コンクール」において佳作になられた宝塚市の池田早美さんの作品「惜春」を使用させていただきました。王子動物園は神戸の桜の名所の一つですが、満開の美しさは樹上のみならず、舞い散る花びらや水面に浮かぶ花びらもまた見事です。この作品は、無数に浮かぶ花びらと波頭に輝く陽光、そして池の主を巧みにとらえたアシカ池の春景色です。

これからもこのような素晴らしい応募作品を活用させていただきたいと思っています。

平成10年度王子動物園行事予定

4月	・重要文化財「旧ハンター住宅」内部公開〔毎日〕
5月	・動物アニメ映画大会〔ゴールデンウィーク期間中〕 ・ヒツジの毛刈り〔中旬〕
6月	・動物教室（一般向け）〔中旬〕 ・アマチュア動物写真コンクール募集〔上旬〕
7月	・動物たんざくでたなばたを飾ろう〔上旬〕 ・ホッキョクグマに氷のプレゼント〔中旬〕 ・サマースクール（要応募）〔下旬〕
8月	・重要文化財「旧ハンター住宅」内部公開〔毎日〕 ・動物絵画教室（要応募）〔上旬〕 ・動物アニメ映画大会〔お盆休み期間中〕
9月	・アマチュア動物写真コンクール作品展〔中旬〕 ・長寿動物へのプレゼント〔中旬〕
10月	・重要文化財「旧ハンター住宅」内部公開〔毎日〕 ・動物園夜間探検隊（要応募）〔2回〕 ・キングペンギンの引っ越し〔中旬〕 ・園内クイズラリー〔下旬〕
11月	・動物の体重を計る会〔上旬〕 ・賀状版画コンクール募集〔上旬〕
12月	・動物おりがみでクリスマスツリーを飾るつどい〔中旬〕 ・干支の引継式〔中旬〕 ・動物園クリスマス会〔下旬〕
11年	・賀状版画コンクール作品展〔上旬〕
1月	・動物アニメ映画大会〔正月休み期間中〕
2月	・動物教室（一般向け）〔中旬〕
3月	・動物映画大会〔春休み期間中〕

- これ以外に土曜・日曜・祝日にはアシカのえさやり、ゾウのしつけ教室や日曜映画教室、動物相談室など適宜実施。
- 毎週「水曜日」休園日（ただし祝日・休日と重なる場合は開園）

はばたき 42号

1998年3月1日発行

企画・監修 神戸市立王子動物園

☎ 078-861-5624

編集・発行 (財)神戸市公園緑化協会

動物園事業部

〒657-0838

神戸市灘区王子町3-1

☎ 078-801-5711

デザイン・印刷 (株)旭成社

☎ 078-222-5800